

(別紙様式2)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 福島県
農業委員会名： 三島町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年6月30日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	70	79	79	0	0	149
経営耕地面積	37	25	25	0	0	62
遊休農地面積	14.76	57.69	57.69	0	0	72.45
農地台帳面積	117	459	459	0	0	576

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	166	農業就業者数	38	認定農業者	7
自給的農家数	132	女性	12	基本構想水準到達者	2
販売農家数	34	40代以下	0	認定新規就農者	3
主業農家数	0	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	1
準主業農家数	0			集落営農経営	3
副業的農家数	0			特定農業団体	0
				集落営農組織	3

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数							
認定農業者	—						
女性	—						
40代以下	—						

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 5年 7月 19日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	7	7			
認定農業者	—	2			
認定農業者に準ずる者	—	2			
女性	—	1			
40代以下	—	0			
中立委員	—	2			

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	3	2	18

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和4年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	149.0ha	74.9ha	50.27%
課 題	農業法人の水田部門撤退や農業従事者等の減少及び高齢化・後継者不足等による耕作放棄地の増加、農地の分散錯圃等が農地の確保・有効利用を図るうえで課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
67.0ha	75.7ha	0.82ha	112.99%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	4月 5月以降	集積を促進するため広報紙を通じて農家へ周知 利用状況調査を基に、遊休農地保有者に対する指導 (担い手へのあっせん活動)
活動実績	4月 1回 5月 1回 6月 1回 9月 1回 10月 1回 11月 1回	集積を促進するため広報誌を通じて農家へ周知 利用状況調査を基に、遊休農地保有者に対する指導 利用状況調査を基に、遊休農地保有者に対する指導 利用状況調査を基に、遊休農地保有者に対する指導 利用状況調査を基に、遊休農地保有者に対する指導 利用状況調査を基に、遊休農地保有者に対する指導

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標を達成でき遊休農地の所有者は把握しており、今後も指導を行う予定であるため、目標としては妥当である。
活動に対する評価	遊休農地の所有者を把握しているが、所有者毎の土地の名寄せがされていない。今後はデータの整理を行い、指導を進めていくとともに監視活動の強化をすることが必要である。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	1経営体	0経営体	0経営体
	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	0.0ha	0.0ha	0.0ha
課題	条件不利地にあり、ほ場の面積も小さく機械化もされていないため、新規参入が難しい状況である。		

※ 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
1経営体	2経営体	200%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
1ha	0.82ha	82%

※1 参入目標は、活動計画に記載した参入者数を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	7月 広報紙を通じて農家へ周知
活動実績	7月 広報紙を通じて農家へ周知

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	条件不利地が多い当町において、多くの経営体が参入することは考えられないため、目標としては妥当である。
活動に対する評価	周知の仕方や時期等に検討が必要である。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和4年3月現在)	管内の農地面積(A) 228.12ha	遊休農地面積(B) 72.45ha	割合(B/A×100) 31.76%
課 題	農業者の大部分は60代以上となっており、担い手の高齢化及び後継者不足により耕作放棄地が増えている。高齢による離農者が今後も増加する見込みで、地区または地域の農地を守り、持続可能な農業にするためには、認定農業者並びに高齢者の労働力の活用はもとより、集落全体による取り組みが不可欠である。耕作放棄地の増加に歯止めをかけるとともに、優良農地の保全に努めていく。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

解消目標① 2.0ha	解消実績② 0.0ha	達成状況(②/①×100) 0%
----------------	----------------	---------------------

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況調査	調査方法	8人	8月～9月
農地の利用意向調査	調査実施時期:4月～6月			
その他の活動				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		9人	8月～11月	12月～3月
	農地の利用意向調査	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		5月～11月	12月～3月	
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
	調査数: 2,585筆	調査数: 0筆	調査数: 0筆	
	調査面積: 72.45ha	調査面積: 0.0ha	調査面積: 0.0ha	
その他の活動				

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	条件不利地が多く土地も狭小のため、目的としては妥当である。
活動に対する評価	遊休農地解消に向けて所有者との調整を進める。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和4年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
		149.0ha
課 題	今後も造反転用の防止に努めていく。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.0ha	0.0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	4月 造反転用防止のチラシ配布 8月 造反転用防止のチラシ配布、農地パトロール
活動実績	4月 造反転用防止のチラシ配布 8月 造反転用防止のチラシ配布、農地パトロール
活動に対する評価	町民へのチラシ配布や農地パトロールを実施し、引き続き周知を対応していく。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 3 件、うち許可 3 件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	農地台帳、登記簿謄本、公図等により確認。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	農地台帳、登記簿謄本、公図等により確認し、地区担当委員に意見を求め採決する。			
	是正措置				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	3件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0件		
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録の閲覧による。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 20日	処理期間(平均)	20日
	是正措置				

2 農地転用に関する事務 (意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 1 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	現地調査員、農地台帳、公図等により現地を確認する。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	現地調査員、地区担当委員に意見を求め採決する。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録の閲覧による。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 20日	処理期間(平均)	20日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	0 法人
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	0 法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 件 公表時期 令和4年 4月 情報の提供方法: 広報紙による情報提供
	是正措置	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 7 件 取りまとめ時期 令和4年 4月 情報の提供方法: 広報紙による情報提供
	是正措置	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 628ha
		データ更新: 年1回 公表: 公表している
	是正措置	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

Ⅶ 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 特になし
	〈対処内容〉

農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 特になし
	〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

Ⅷ 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 0 件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--